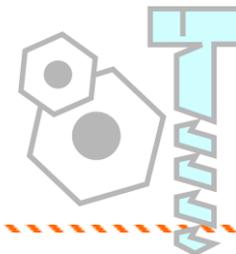




業種別部会長シンポジウム

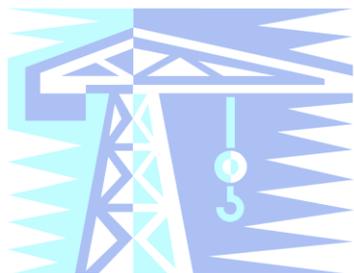


機械金属部会

「2010年上期の回顧と2010年下期の展望」

業種・分野別分類

1. 鉄鋼(鋼板)
2. 電力・大型プロジェクト
3. プラント
4. 建設機械
5. 産業用圧縮機
6. 農業機械
7. 各種工具/精密機器
8. 軸受
9. 潤滑油



2010年 8月17日

日立製作所 西岡



1.鉄鋼(鋼板)

2010年上期の回顧

概況

国内:上期 2009年下期上回る結果
過去最高だった2007年水準まで回復。

輸出:40%落ちた。国内市場好調な為
国内市場を優先させた結果。

輸入:上期 09年より27%上回る
欧米鋼材市場順調ではなく、
伯市場への鋼材輸入は増える。

2010年下期の展望

概況

国内:引き続き 堅調に推移
上期並み、それ以上順調な販売。

輸出:旺盛な国内需要反映して
輸出にむけられる量は限定。
上期並みにタイトな状況が続く見込。

輸入:上期同様 好調な伯市場に
入り込んでくる数量は多い見込。
全体的に下期は上期比 10%プラスか？

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



2. 電力 及び 大型プロジェクト

2010年上期の回顧

概況

発電業界、石油業界、セメント業界など
ワールドカップ、オリンピック 需要期待。
ペトロブラスの旺盛な投資に期待。

大型プロジェクト続々

モノレールプロジェクト 地下鉄2号線
高速鉄道(新幹線プロジェクト)

7月入札公示 12月16日入札

2010年下期の展望

概況

ペトロブラスの投資継続に期待。
モノレール案件 続々入札発表。
高速鉄道(新幹線) 日本連合は?
エネルギー関連設備、環境関連設備
に期待。

船舶機械 VALE等からの造船の発注
あり賑わいを見せている。
将来的にはローカルコンテンツも

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



3.プラント(紙パルプ・石油化学・エタノール等)

2010年上期の回顧

概況

紙パルプ 予想より早く、回復 設備 投資再開
異業種(食肉)から新規参入 投資増。
石油化学 ペトロブラス プレサル生産開始
意欲的な投資計画。
鉄鋼・非鉄 景気回復基調にあると判断
明るい兆しが見えてきた。
エタノール 業界再編進んでいる。

2010年下期の展望

概況

紙パルプ 上期に続き 設備投資 今後も続く
各社拡張工事再開発表。
石油化学 ペトロブラス 相変わらず投資継続
他の石油会社 商談は増えるだろう。
鉄鋼・非鉄 上期の通り明るい兆し
具体的には不透明な部分もある。
エタノール 大きな商談は見えていない。
現状ではまだ不明。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



4. 建設機械

2010年上期の回顧

概況

国内総需要 2008 100とした場合
2010 1Q 166 2Q 128
需要回復 低金利(finame)寄与。
生産状況 2008 100とした場合
2010 1Q 178 2Q 219
大幅増産。

2010年下期の展望

概況

国内総需要 上期同様 大幅増の見込み
下期の大統領選挙前後の需要縮小リスク
は限定的(政策変更のリスク)。
低金利期限延長もあり、好調続く
生産見込み 2008 100とした場合
2010 140と予測

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



5.産業用圧縮機

2010年上期の回顧

概況

食品 飲料業界 設備投資が顕著
国内需要高まり 設備増強計画・実施。
牛肉業界 横ばい 鶏肉 堅調。

ペトケミ ペトロプラス 大型投資計画発表
まだ 顕著には現れていない。
メキシコ湾事故 安全管理・点検サービス事業
への投資。

アルコール市場 大きな動きなし。

2010年下期の展望

概況

食品 鶏肉中心 食品大手 漸く 重い腰を
上げようとしている 投資期待。
飲料市場 今年投資終了、来年度期待。

ペトケミ プレサル含めた新規投資計画
情報収集にあたる。
他のケミカル会社 チラーユニット受注期待。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



6. 農業機械

2010年上期の回顧

概況

エンジンビジネス 2008上期レベルまで回復
前年同期比 125%(金額)大きく回。
台数ベース でも 144%の回復。
トラクタービジネス 2008からの小規模農家の
支援策 75馬力以下のトラクターの
低金利融資政策により 右肩上がり好調維持。
2010 上期 129%(台数)
但し、価格上限コントロールさせ採算厳しい。

2010年下期の展望

概況

エンジンビジネス ディーラー、OEM先、
レンタル会社 オーダー好調 下期も堅調
2010 117%(金額)119%(台数)見込む。
トラクタービジネス 低金利政策の継続
上期に引き続き、好調を維持。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



7.各種工具/精密機器(切削工具、耐磨工具、他)

2010年上期の回顧

概況

切削工具 上期販売 最高記録更新
自動車生産回復が大きく、バス・トラック・
建設機械の生産回復効果出て来た。
耐磨耗工具 上期計画の70%であった。
しかし、市場動向は活発であった。
鉋山工具 上期 245%と好調 金鉋山からの
引合い多かった。
精密工具 好転したのは3月以降、上期7割程度
現在 受注は100%にも戻ったが、生産能力90%

2010年下期の展望

概況

切削工具 自動車好調、輸出改善
15%伸びを期待。
耐磨耗工具 ワールドカップ・オリンピックに
受けた工事発注増に期待。
鉋山工具 ワールドカップ・オリンピックに
向けた土木工事増に期待。
精密工具 100%レベルまでの
生産体制強化急務。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



8.軸受

2010年上期の回顧

概況

自動車向け IPI減税終了後 高い生産
継続、売上増加。二輪横ばい。
一般産業向け 鉄鋼、農機、電機
対前年同期比 売上増加。
鉱山 各種プロジェクト再開。
家電 景気刺激策終了後も大幅増。
鋼材等原材料価格の上昇懸念、生産コストアップ

2010年下期の展望

概況

国内需要 今後も堅調に推移
一部製造業 在庫増加の状況も
見られる、在庫調整等若干の
揺り戻しが懸念。
中国経済成長の減速、欧州財務危機など
不安材料はあるが、国内需要を基盤
として好調維持すると予測。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



9.潤滑油

2010年上期の回顧

概況

2010 世界経済回復期待されて始まった
伯経済がいち早く回復傾向を示した。
自動車 IPI減税終了の駆け込み 需要に
よって 1Q 販売を牽引 その後も
国内需要の堅調な伸び
上期 販売数量 30%増加。

2010年下期の展望

概況

下期 自動車生産 現状維持が続くと
予想、二輪も徐々に回復。
2010 前年 15から20%
2008 販売まで回復が急に
但し、原料ベース油の価格上昇が
大きく、採算性向上が課題。

2008年リーマンショック後の回復速度を乗り物に例えるなら？



機械金属部会 全体

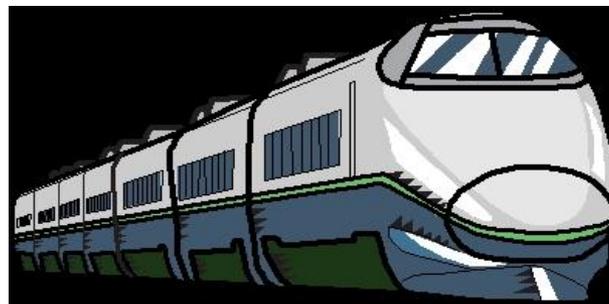
2010年上期の回顧

2010年下期の展望

概況

2010年は世界経済の回復が望まれて始まった。
政府は各種消費刺激策や政策金利の引き下げなど
矢継ぎ早に対策を打ち出した。
ブラジル経済はいち早く回復傾向を示した。
今年の経済成長率も7%台と見込まれている。

今後の更なる経済成長を目指して



新幹線のスピードで突き進んで行って欲しいと機械金属部会は考えております。